

技術年史の見方について

車両システムの流れ

そのページの「技術対象システム」を表します。

電気機関車 ・ディーゼル電気機関車

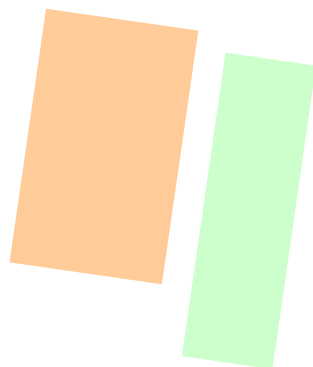
システム内の「製品区分」を表します。

1895 わが国初の電車営業運転が、京都市で始まる。

当社を取り巻く「社会／顧客／業界の環境変化」や、同業他社の「重要な活動」を表します。

1961 米国GE製の置き換え用として、パナマ運河曳船用新形電気機関車を受注・製作し、翌年から納入開始。

当社の「新技術開発／新製品開発／新市場開拓」などを表します。



その「製品区分」の「始まり」から「終わり」までを、色つきの「帯」で表しました。

上記の「黒枠」「赤枠」が、この「帯」に重なっている時は、その「枠」内の説明は、原則として「帯」の製品区分に関するものになっています。2つの「帯」に掛かっている時は、両方の製品区分に共通な記事ということになります。

同じページの中で、横並びで見た場合、できるだけ「年代」が揃うように努力しましたが、スペースの関係で、かなりずれてしまった箇所もあります。悪しからずご容赦ください。

技術年史執筆者略歴



永淵澄夫

1953年入社
1984年取締役・技術開発本部副本部長
1991年常務取締役・交通企画本部長
1994年専務取締役・技術総括担当、技術研究所長
1998年取締役退任、技術顧問
2000年退職



星野順吉

1954年入社
1984年取締役・相模工場長
1992年専務取締役・技術統括、技術研究所長
1994年退任、顧問
1999年退職